

2023年11月期

決算補足説明資料



2024年1月12日
MITホールディングス株式会社
証券コード 4016

第一部 2023年11月期 決算概要

- 決算ハイライト
- 損益計算書の概況
- 四半期別の業績推移
- 営業利益の増減要因分析
- 貸借対照表の概況
- キャッシュ・フローの概況
- 配当方針

第二部 中期経営計画1年目(2023年11月期)の振り返りと2年目(2024年11月期)業績予想

第三部 Appendix

- 会社概要
- グループ会社概要
- 中期経営計画の基本戦略

2023年11月期 決算概要

売上高

47億86百万円

前年同期比 4億28百万円(9.8%)増



売上総利益

10億61百万円

前年同期比 99百万円(10.3%)増



営業利益

84百万円

前年同期比 29.9%減



経常利益

94百万円

前年同期比 21.2%減


















当期純利益

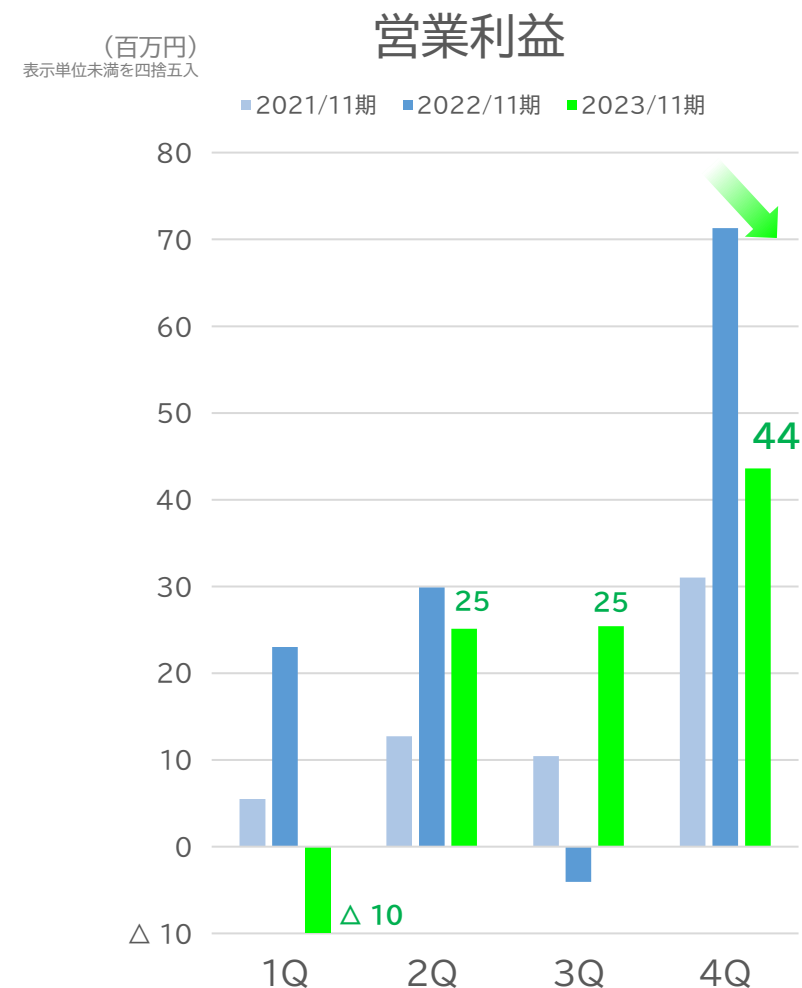
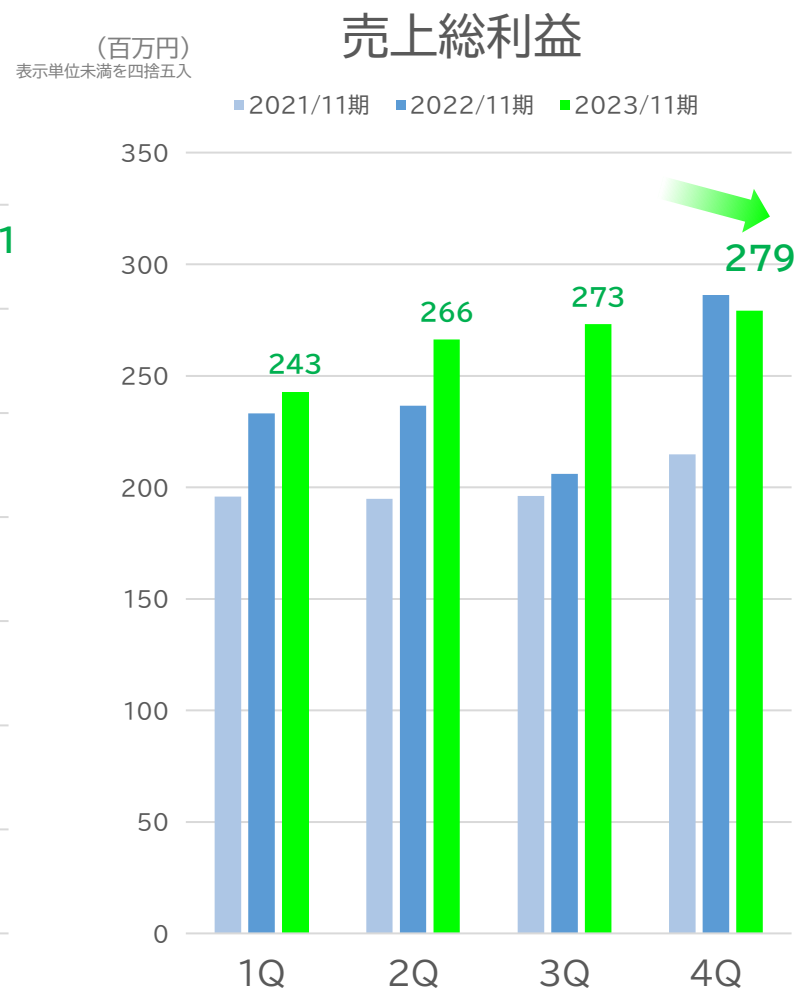
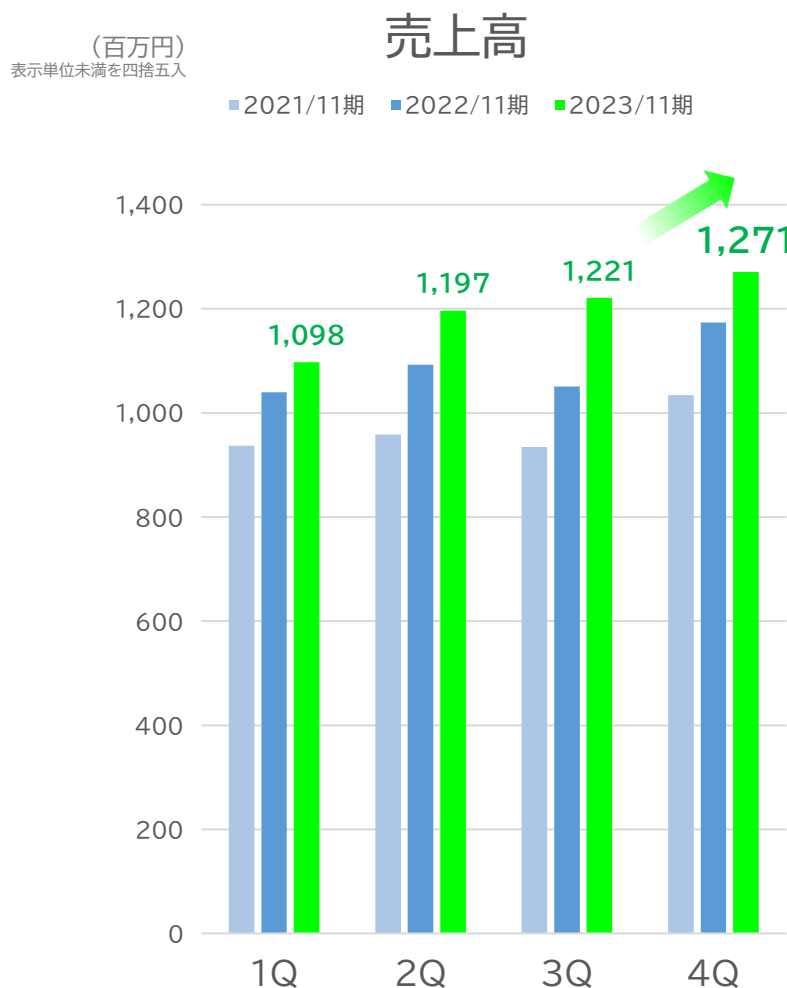
47百万円

前年同期比 4.6%増



	2022年11月期	2023年11月期	前期比		
	千円	千円	千円	増減率	
売上高	4,357,363	4,786,307	+428,944	+ 9.8%	
システムインテグレーション	3,869,645	4,140,515	+270,869	+ 7.0%	
DXソリューション	487,718	645,792	+158,074	+ 32.4%	
売上原価	3,395,256	3,724,756	+329,500	+9.7%	
売上総利益	962,107	1,061,551	+99,444	+10.3%	
販売費及び一般管理費	841,982	977,369	+135,387	+16.1%	
営業利益	120,124	84,181	△ 35,943	△ 29.9%	
営業外収益	9,154	21,338	+12,184	+133.1%	
営業外費用	9,088	10,779	+1,691	+18.6%	
経常利益	120,190	94,740	△ 25,449	△ 21.2%	
特別利益	7,860	7,058	△801	△10.2%	
特別損失	24,299	304	△23,995	△98.7%	
税金等調整前当期純利益	103,751	101,495	△2,255	△2.2%	
法人税等合計	58,335	53,971	△4,363	△7.5%	
親会社株主に帰属する当期純利益	45,416	47,524	+2,108	+ 4.6%	

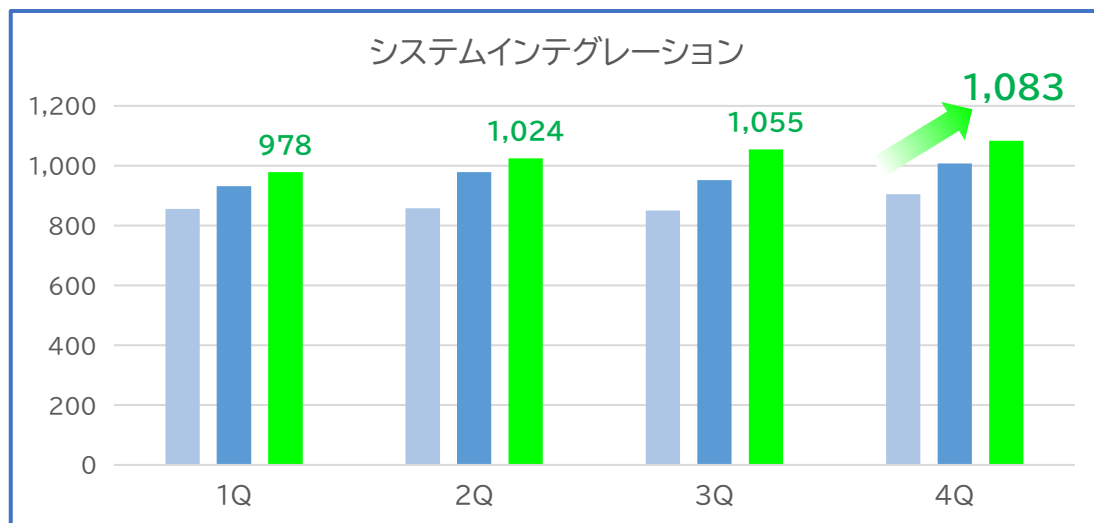
- 売上高は、各四半期会計期間の過去最高を更新。
- DXソリューションの売上高が当初計画を下回ったことにより、4Qの売上総利益、営業利益は前年同期比で減少。



■ サービス別売上高は、各四半期会計期間で前期比増収を達成。

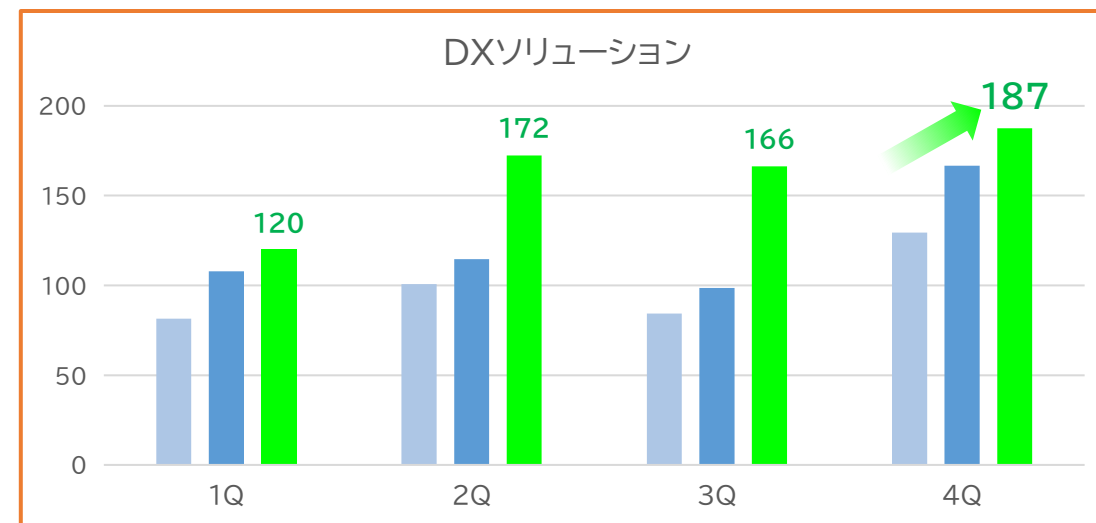
グラフ単位：百万円（表示単位未満を四捨五入）

■ 2021/11期 ■ 2022/11期 ■ 2023/11期



➤ 年間売上 4,140百万円（前期比+7.0%）

- 首都圏においては、公共分野、金融分野、エネルギー分野における既存顧客からの受注が堅調に推移したことに加え、GIGAスクール運用サポート業務が拡大。
- 新規顧客開拓による受注案件の拡大と、受注単価アップや高利益率案件へのシフトにより、当初計画を上回る結果となった。
- 一方、西日本においては、エンジニアの確保が難航したことによるリソース不足が補えず一部機会損失が発生。



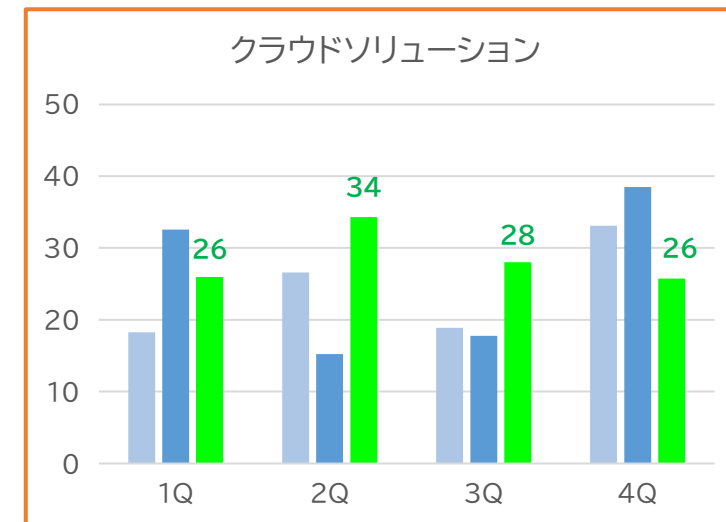
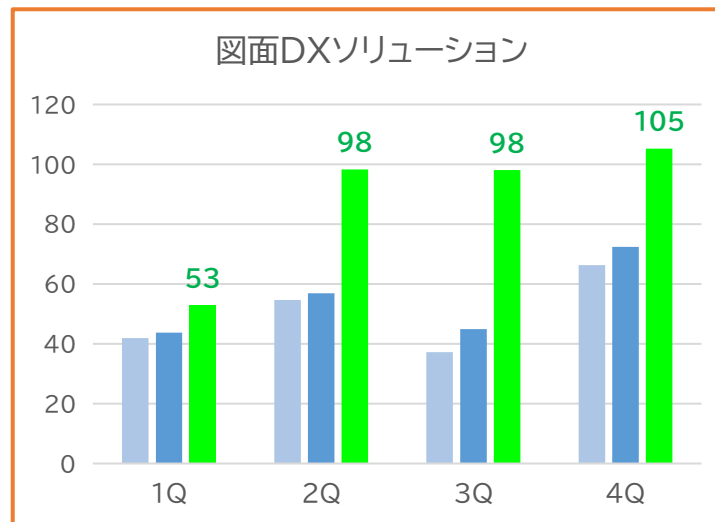
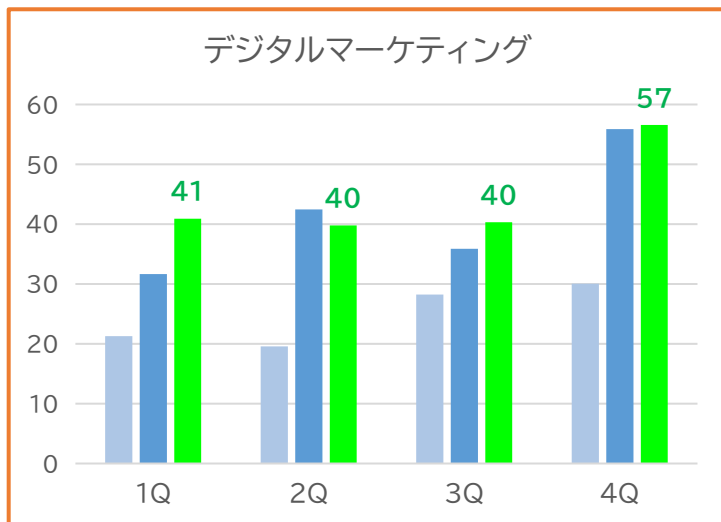
➤ 年間売上 645百万円（前期比+32.4%）

- 2月にグループ加入した株式会社ネットウィンクスが手掛ける大規模修繕工事に伴う足場の仮設計画図などのCAD製図サービスが図面DXソリューションを牽引して売上拡大。
- 建築業界の景気動向悪化に伴う投資抑制によるDynaCADの案件規模縮小及び、Wisebook案件において受注は堅調に推移したものの、一部大型案件の納期延伸などにより、DXソリューション全体の売上高は当初計画を下回る結果となった。

■ 前期比増収もデジタルマーケティング、図面DXソリューションは当初計画を下回る。

グラフ単位：百万円（表示単位未満を四捨五入）

■ 2021/11期 ■ 2022/11期 ■ 2023/11期



➤ 年間売上 177百万円(前期比+7.1%)

- Wisebookプライベートサーバのカスタマイズ案件の受注は堅調に推移。
- Wisebook EdTechのサービス開始、今後の導入先拡大を計画。
- 一部大型案件の納品が翌期にずれ込んだことなどにより、4Qの売上高は当初計画を下回る結果となった。

➤ 年間売上 354百万円(前期比+62.6%)

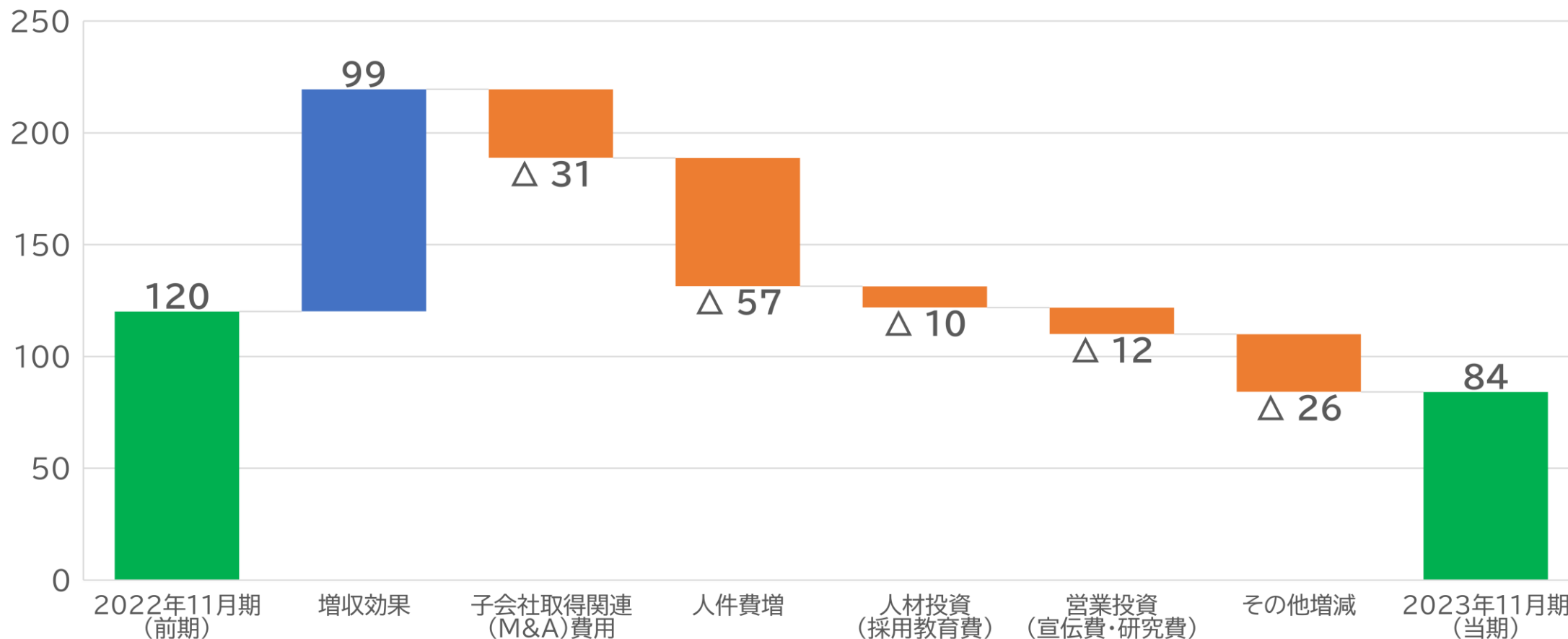
- ネットワークス加入によるCAD製図サービスの売上増加が牽引。
- 4QのDynaCAD販売キャンペーンにおいて、購入延期や案件規模が縮小したことにより、DynaCADの売上高は当初計画を下回る結果となった。
- ドローン関連は前期比で若干の減少。

➤ 年間売上 113百万円(前期比+9.5%)

- 中小規模事業者向けシステム開発案件、インボイス及び電子帳簿法対応の追加開発などの案件が増加。
- 自社クラウドソリューションの認証サービス「TheMeal」の販売は増加したものの、クラウドサービス「自治体申請ナビ」の販売実績は減少。

- M&A関連費用やのれん償却費の計上、営業・間接部門の増強による人件費の増加等による投資費用が増加。
- 利益率の高いDynaCAD、Wisebookの売上高が当初計画を下回ったことにより、投資費用を吸収できず、営業利益は前期比で36百万円の減少。

(百万円) 表示単位未満を四捨五入



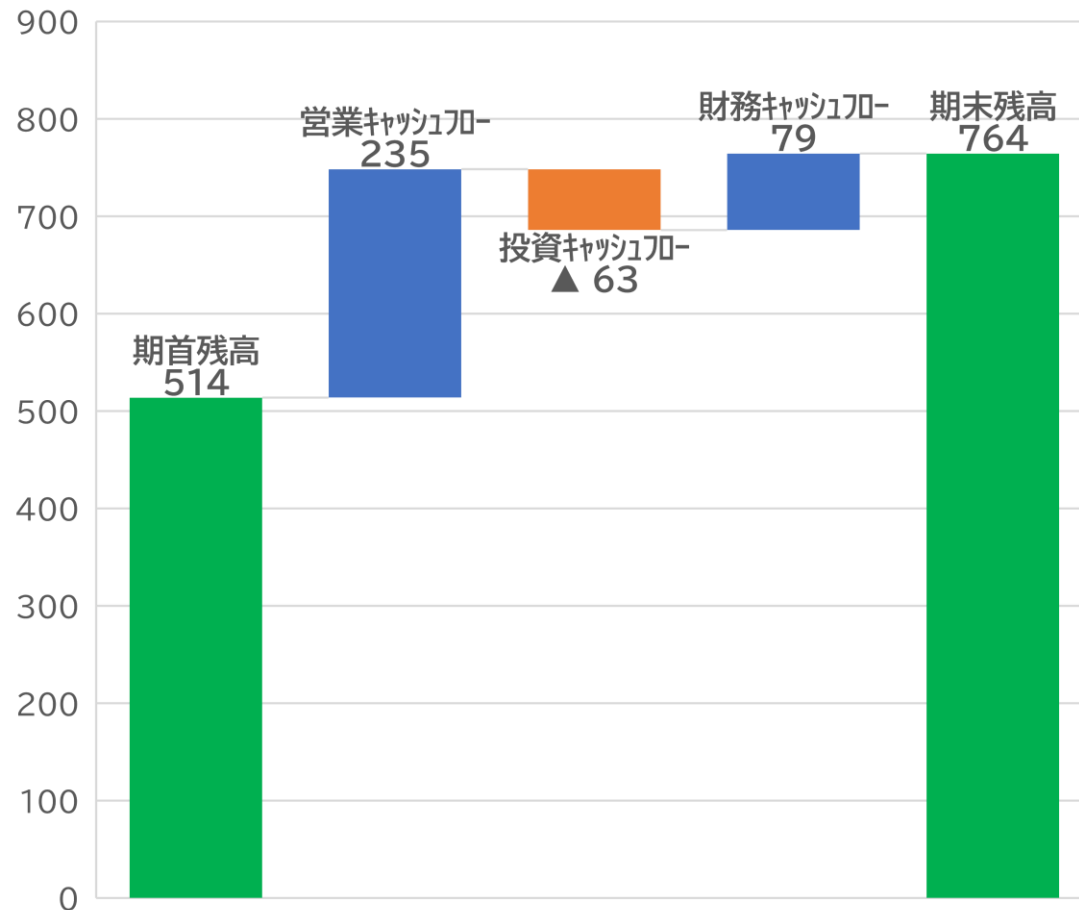
- 当期純利益の計上により純資産が増加。
- 子会社株式取得に伴う資産(現預金、のれん他)・負債(借入金他)の増加により、自己資本比率は前期比で若干減。

		2022年11月期	2023年11月期	前期比	
		百万円	百万円	百万円	増減要因
資産の部	流動資産	1,331	1,633	+ 301	現金及び預金、売上債権の増加
	固定資産	452	632	+ 180	M&Aに伴うのれん・顧客関連資産の増加
	繰延資産	8	8	△ 0	
	資産合計	1,792	2,274	+ 481	
負債の部	流動負債	693	957	+ 264	短期借入金、未払費用等の増加
	固定負債	583	764	+ 181	長期借入金の増加
	負債合計	1,276	1,722	+ 446	
純資産の部	資本金	291	291	+ 0	
	資本剰余金	106	106	+ 0	
	利益剰余金	206	240	+ 33	当期純利益の計上及び、配当金の支払い
	自己株式	△ 92	△ 92	-	
	純資産合計 (自己資本比率)	516 28.8%	551 24.3%	+ 35 △ 4.5%	M&Aに伴う資産、負債の増加により、 自己資本比率は前期比で若干減。
負債純資産合計		1,792	2,274	+ 481	

- 営業キャッシュ・フローは、減価償却費等を除く事業収益により増加。
- 投資キャッシュ・フローは、自社ソフトウェア商材の開発投資による支出が増加。

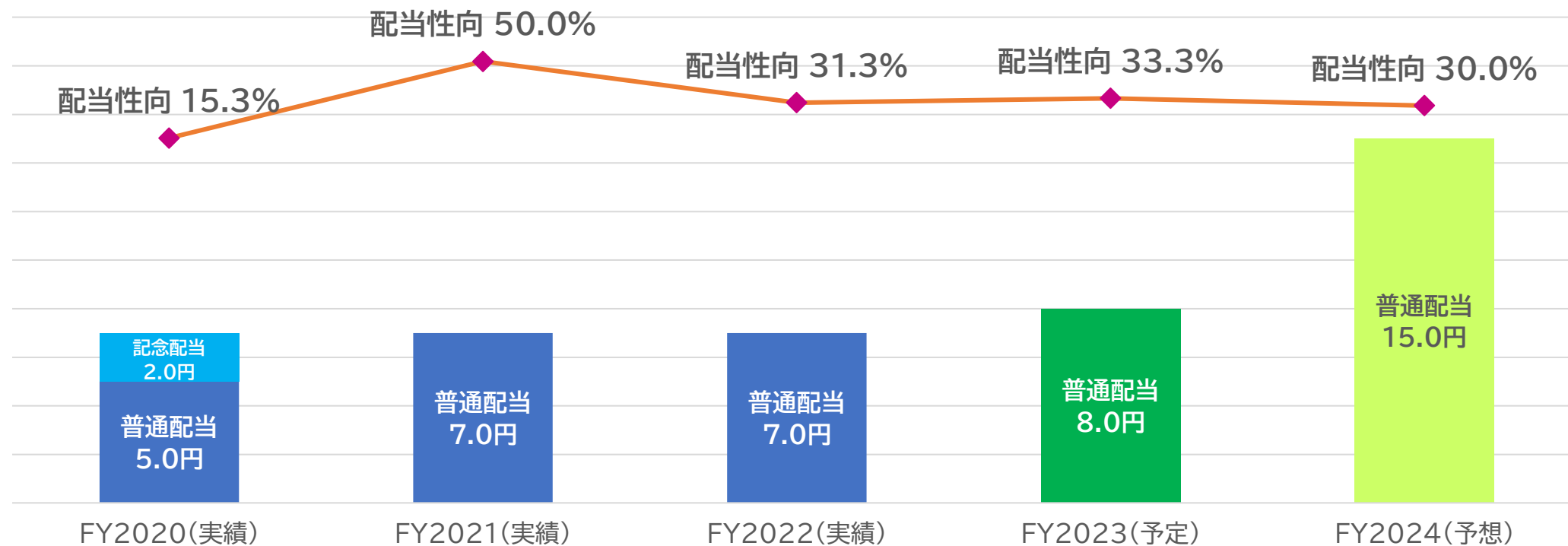
	2022年11月期	2023年11月期
	百万円	百万円
営業キャッシュ・フロー	177	235
投資キャッシュ・フロー	△123	△63
財務キャッシュ・フロー	78	79
現金及び現金同等物の増減額	132	251
期首残高	381	514
期末残高	514	764
FCF(フリーキャッシュフロー)	54	172

(百万円) 表示単位未満を四捨五入



- 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけており、利益の配分にあたっては、業績の推移を見据え、将来の事業の発展と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結配当性向30%以上を目安に安定的かつ継続的な配当を維持することを基本方針としております。

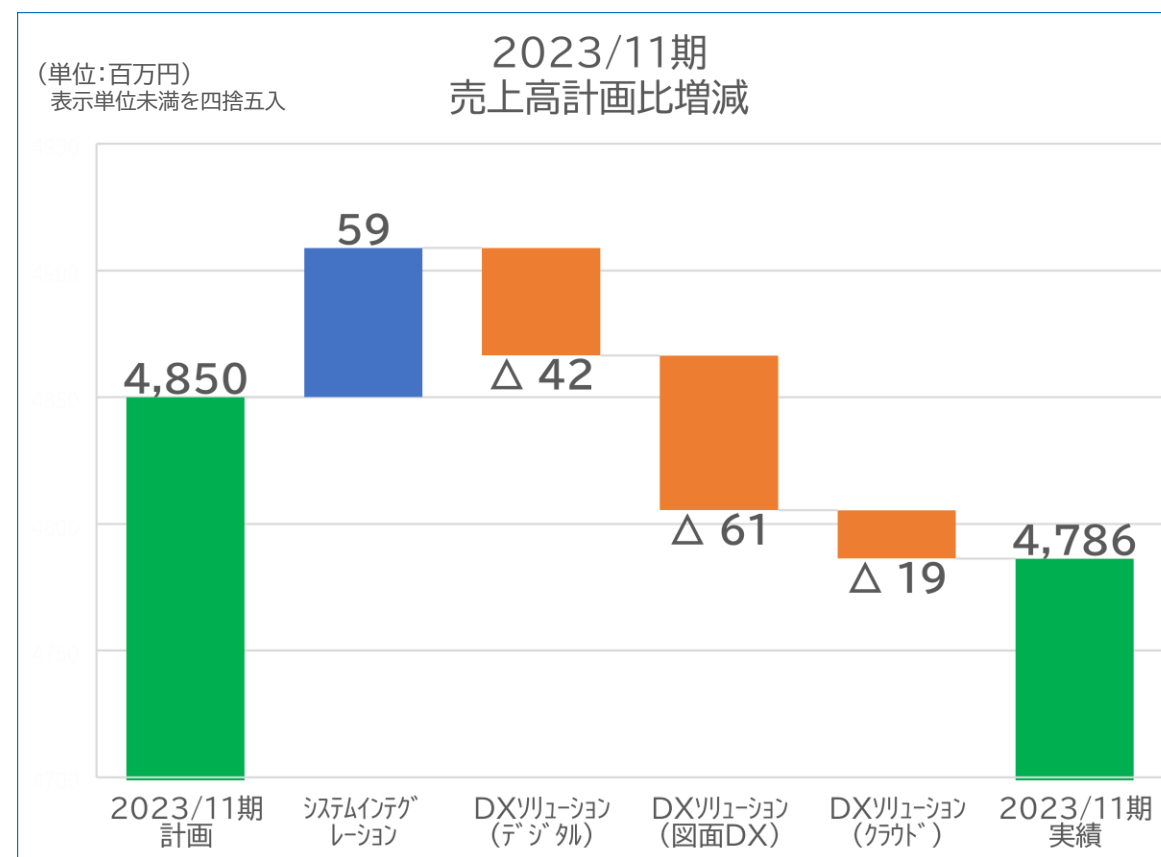
配当推移



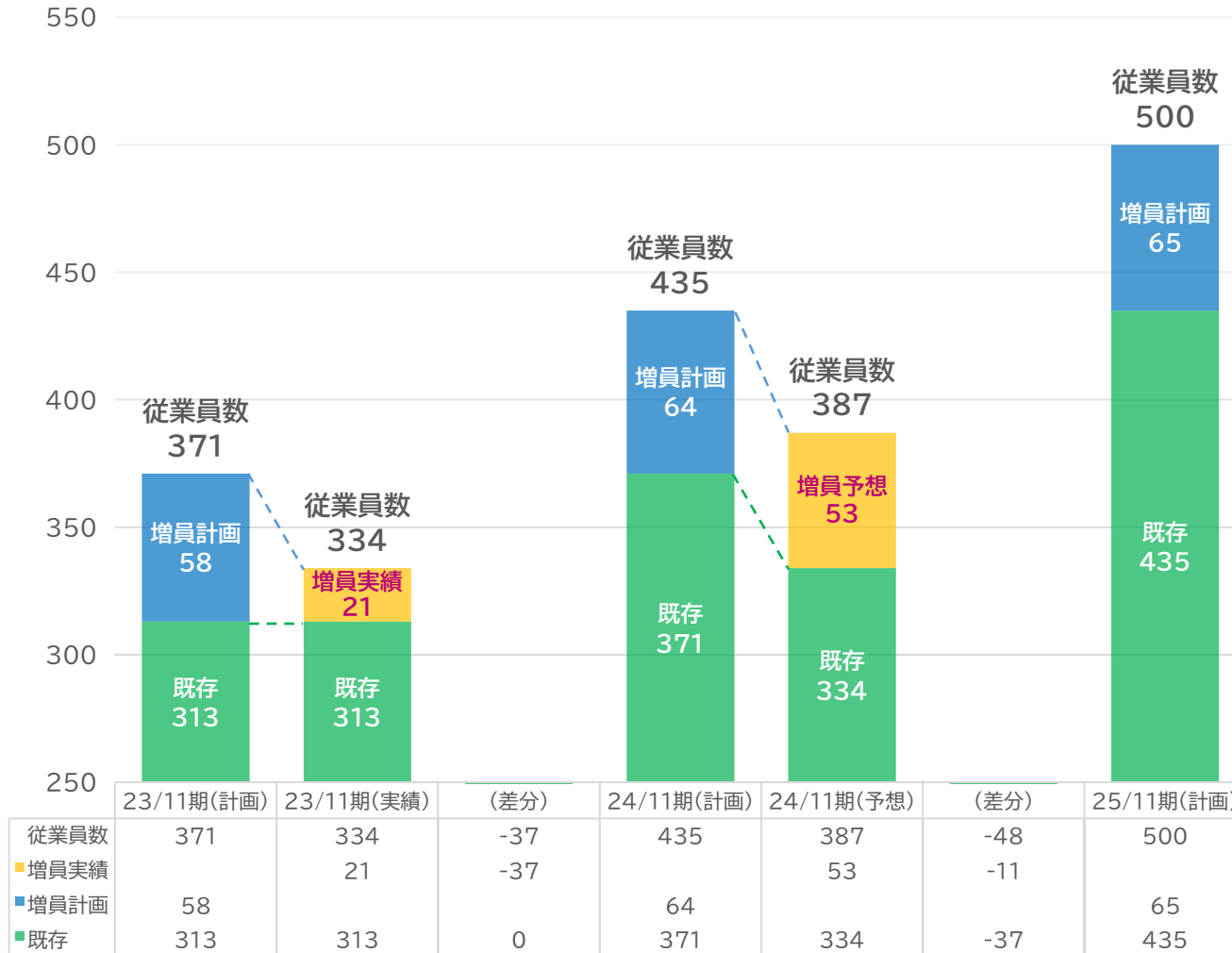
中期経営計画1年目(2023年11月期)の振り返りと 2年目(2024年11月期)の業績予想

- システムインテグレーションは、首都圏を中心に顧客からの受注が堅調に推移し、新規顧客獲得による案件拡大も達成したことにより、当初計画を上回り、売上高は41億40百万円(計画比1.4%増)となりました。
- DXソリューションは、Wisebook案件において一部大型案件の納品が翌期にずれ込んだこと、DynaCADキャンペーン販売実績が予想を下まわったことなどにより、特に第4四半期の販売実績が計画から大きく落とす結果となり、売上高は6億45百万円(計画比16.0%減)となりました。

	2023/11期 (計画)	2023/11期 (実績)	差分
	百万円	百万円	百万円
売上高	4,850	4,786	△ 63
システムインテグレーション	4,081	4,140	+ 58
DXソリューション	768	645	△ 122
営業利益	126	84	△ 41
営業利益率	2.6%	1.8%	△ 0.8%
ROE	10.1%	8.9%	△ 1.2%



重点施策：システムインテグレーション会社従業員の増員計画



■ 2023年11月期の概況

- ✓ 新卒採用は概ね計画どおりの採用実績
- ✓ キャリア採用計画のうち、エンジニア経験者の採用は依然として厳しい状況が続いており、未経験者(他業種からキャリアチェンジ)採用の増員にシフトせざるを得ない状況。
- ✓ 年間増員数は計画を大きく下まわることとなったが、パートナー会社との協業により、要員を確保することができ、売上拡大につながる。

■ 今後の取り組み

- ✓ 新卒採用は売り手市場の状況が続いているため、MITグループで一貫した採用活動を実施。
- ✓ 引き続き、社員紹介採用の積極的な実施。
- ✓ 今後拡大が見込まれる未経験者採用に備えた案件の創出と教育制度の充実。
- ✓ 2025年11月末に向けた500名体制計画の見直しとパートナー会社との連携強化による要員確保。

重点施策：DXソリューション Wisebook・DynaCADの導入先拡大

2025年11月期末(3年目) に向けた目標

2023年11月期(1年目)の取り組み実績

Wisebook(ワイズブック)

- ① 2023年EdTech本格参入
- ② 2025年累計導入数 3,000社

① 2023年10月 EdTechサービス開始



② 2023年11月期の進捗

新規導入数 101社
累計導入数 601社

- Wisebook EdTechを大手専門学校に導入し、教育分野へ参入。
- 今後、Wisebookはフリーミアムモデルへ。
※フリーミアムとは、基本機能を備えたサービスをユーザーに無料で提供し、より高度な機能は有料サービスで提供するビジネスモデルを指します。

DynaCAD(ダイナキャド)

- ① 3D「DynaCAD CUBE」の拡大
- ② 2025年累計導入数 300自治体

① 2023年4月 点群変換セットをリリース



② 2023年11月期の進捗

新規導入数 7自治体
累計導入数 211自治体

- 公共事業ではi-Construction、BIM/CIMといった3D化を推進。
- 今後、DynaCAD(2D)とCUBE(3D)を統合、ユーザーの乗り換えと新規ユーザー獲得を計画。

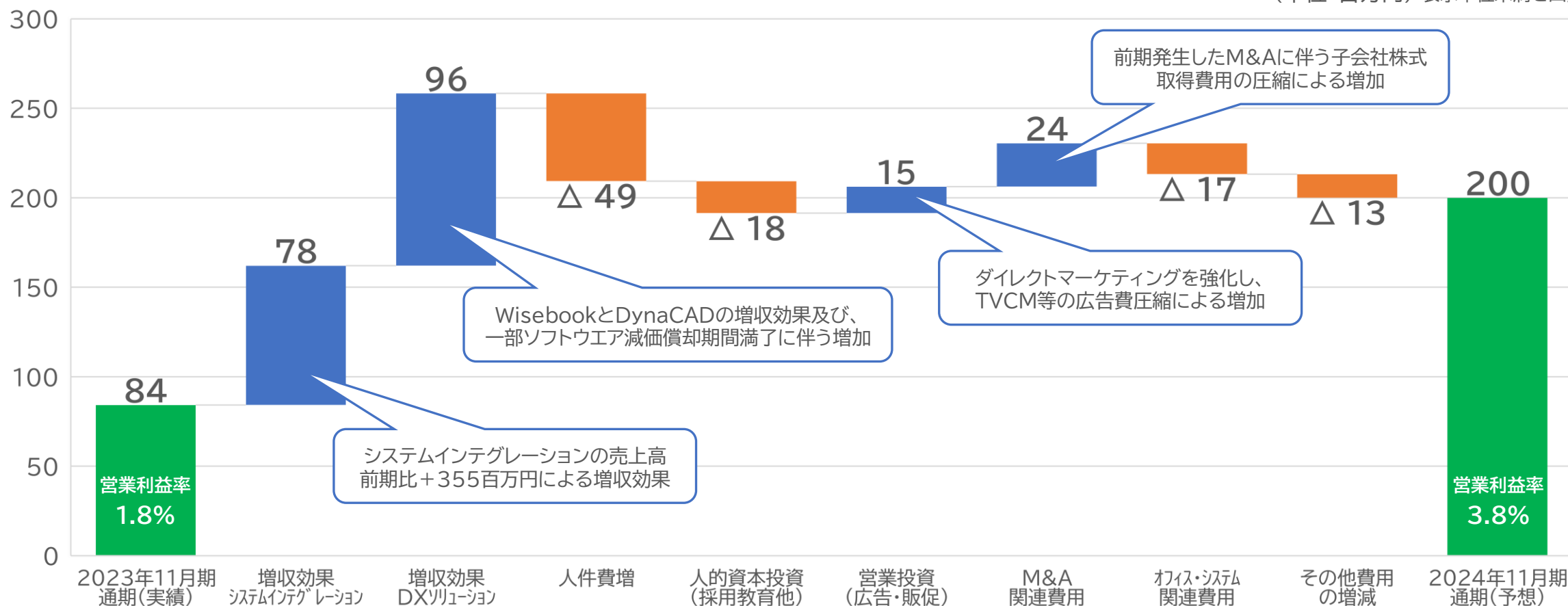
- システムインテグレーションは、堅調な受注環境の下、要員確保と育成に注力することにより、8.6%の増収計画。
- DXソリューションは、当社グループの自社商材である「Wisebook」及び「DynaCAD」の高利益率ビジネスへの選択と集中を強化し、18.4%の増収計画。

	2023年11月期 (実績)		2024年11月期 (業績予想)		増減額	増減率
	百万円	構成比(%)	百万円	構成比(%)	百万円	%
売上高	4,786	-	5,260	-	+473	+ 9.9
システムインテグレーション売上高	4,140	86.5	4,495	85.5	+355	+ 8.6
DXソリューションサービス売上高	645	13.5	764	14.5	+118	+ 18.4
(内訳)デジタルマーケティング(Wisebook)	177	3.7	258	4.9	+81	+ 45.8
図面DXソリューション(CAD,ドローン)	354	7.4	425	8.1	+71	+ 20.1
クラウドソリューション(クラウド,認証)	113	2.4	80	1.5	△33	△ 29.8
営業利益	84	1.8	200	3.8	+115	+ 137.6
経常利益	94	2.0	186	3.5	+91	+ 96.3
親会社株主に帰属する当期純利益	47	1.0	99	1.9	+51	+ 108.3

2024年11月期 業績予想（営業利益の増減要因分析）

- システムインテグレーションの堅調な伸びとDXソリューションの高利益率ビジネスへの集中により、事業収益による増収効果は1億74百万円を見込む。
- 前期発生したM&A関連費用、営業投資(広告・販促)の一部を圧縮することで営業利益率が向上する見込み。中期経営計画(2年目)のとおりに、営業利益2億円を目指す。

(単位:百万円) 表示単位未満を四捨五入



Appendix

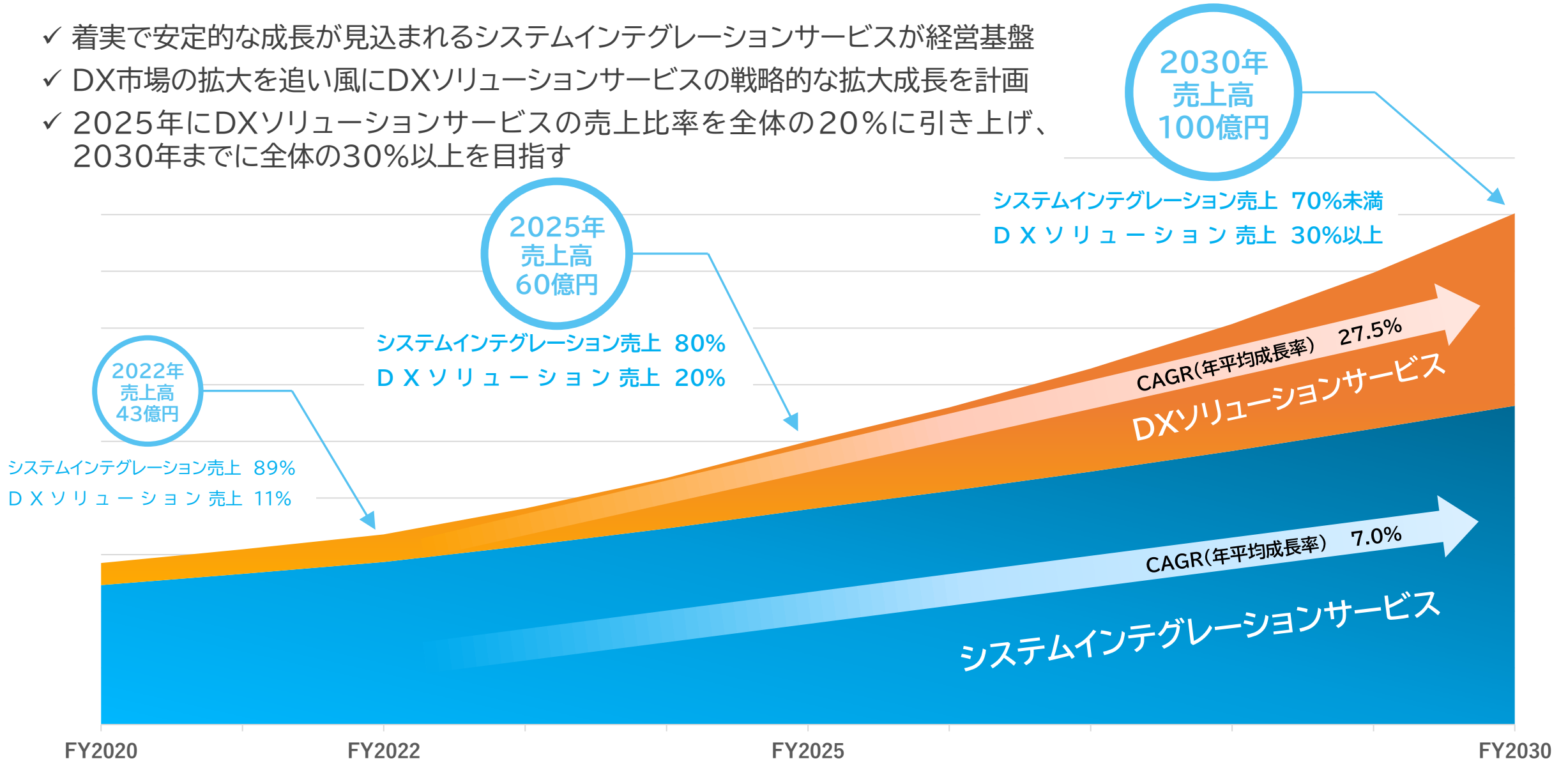


会社名	MITホールディングス株式会社
設立年月	2009年12月
創立年月	1990年1月（システムイオ設立）
本店所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1
決算期	11月
従業員数	単体:18名、連結:396名（2023年11月現在）
上場市場	東証スタンダード
資本金	2億9,145万円（2023年11月現在）
発行済株式数	2,109,400株（2023年11月現在）
役員構成	代表取締役社長 増田 典久
	代表取締役会長 鈴木 浩
	常務取締役 中森 将雄（株式会社NetValue代表取締役）
	常務取締役 三方 英治（財務担当取締役）
	取締役 野山 真二（株式会社システムイオ代表取締役）
	社外取締役 池津 学
	常勤監査役 沼倉 巧和
	社外監査役 東園 直樹
	社外監査役 山西 啓司

会社名	設立年月	代表者	従業員数 (2023年11月)	拠点	主要サービス
株式会社システムイオ 	1990年1月	代表取締役社長 野山 真二	178名	千葉本社(千葉市) 東京本社(港区)	システムインテグレーション
株式会社NetValue 	2004年6月	代表取締役社長 中森 将雄	120名	大阪本社(大阪市) 福岡営業所、川崎営業所	システムインテグレーション
株式会社ビーガル 	2007年9月	代表取締役社長 岩永 裕寿	33名	千葉本社(千葉市) 東京支社、大阪支社、他	DXソリューション
株式会社イーピーエス 	2005年1月 (2022年1月加入)	代表取締役社長 後藤 幹太	36名	東京本社(千代田区)	システムインテグレーション
株式会社ネットウィンクス 	1993年11月 (2023年2月加入)	代表取締役社長 青柳 文彦	11名	千葉本社(千葉市)	DXソリューション
Vision Links Myanmar (非連結) 	2015年9月	代表取締役社長 桑原 智成	10名	本社(ヤンゴン)	システムインテグレーション

中期経営計画の基本戦略（売上計画）

- ✓ 着実に安定的な成長が見込まれるシステムインテグレーションサービスが経営基盤
- ✓ DX市場の拡大を追い風にDXソリューションサービスの戦略的な拡大成長を計画
- ✓ 2025年にDXソリューションサービスの売上比率を全体の20%に引き上げ、2030年までに全体の30%以上を目指す



\\ もっとITを //

MiTホールディングス

<本資料に関する注意事項>

本資料は、当社の業績及び今後の見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

<お問合せ先>

MITホールディングス株式会社
経営企画センター

TEL 043-239-7252

E-Mail ir@mit-hd.co.jp